

厚生委員会報告資料

令和4年8月19日

報告事項件名	頁
1 新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗状況について・・・・・・・・・・	2
2 足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について・・・・・・・・・・	4

(衛 生 部)

厚生委員会報告資料

令和4年8月19日

件名	新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗状況について
所管部課名	新型コロナウイルスワクチン接種担当部 新型コロナウイルスワクチン接種担当課
内容	<p>1 4回目接種について</p> <p>(1) 接種対象者の拡大</p> <p>7月22日に厚生労働省から通知があり、4回目接種対象者が拡大され、18歳以上60歳未満の「医療従事者等及び高齢者施設等の従事者」が接種可能となった。具体的には、「重症化リスクが高い多くの方々に対してサービスを提供する医療機関や高齢者施設・障害者施設等の従事者」と示されている。</p> <p>(2) 接種状況等（令和4年8月12日現在）</p> <p>ア 60歳以上の方</p> <p>(ア) 対象者数 207,173人</p> <p>(イ) 接種者数 89,435人</p> <p>(ウ) 接種率 43.2%</p> <p>イ 18歳以上60歳未満の方</p> <p>(ア) 接種券発行申請数</p> <p>① 基礎疾患を有する方等 10,401人</p> <p>② 医療従事者等及び高齢者施設等の従事者 7,096人</p> <p>(イ) 接種者数 5,444人</p> <p>2 オミクロン株に対応したワクチンの接種体制確保について</p> <p>8月8日に開催された厚生科学審議会の議論をふまえ、オミクロン株対応ワクチンの接種実施に向けた準備を進めるよう、厚生労働省より通知があった。</p> <p>(1) 接種対象者</p> <p>現時点のワクチンの効果に関する科学的知見を踏まえ、オミクロン株対応ワクチン接種は、初回（1・2回目）接種を完了した全ての住民を対象に実施することを想定（足立区の場合、約52万人）</p> <p>(2) 接種の開始時期</p> <p>薬事上の承認がなされれば、ワクチンの供給までに必要な時期等を踏まえると、今年の10月半ば以降に実施することが考えられる。</p> <p>(3) 実施期間の延長</p> <p>現在の事業実施期間は令和4年9月30日までとなっているが、延長する方向で調整している。</p>

	<p>3 ワクチン接種証明書のコンビニ交付開始について</p> <p>7月26日より順次、利用可能事業者においてワクチン接種証明書のコンビニ交付が開始となった。</p> <p>(1) 足立区内における利用可能事業者 株式会社セブン-イレブン・ジャパン（8月17日より）</p> <p>(2) 必要書類等 マイナンバーカード、接種証明書発行料（1通あたり120円）</p> <p>(3) 取得可能時間 毎日6：30～23：00</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>国の動向を注視しながら、最新の情報を区民に対して情報提供するとともに、引き続き、足立区医師会と連携して事業を実施していく。</p>

厚生委員会報告資料

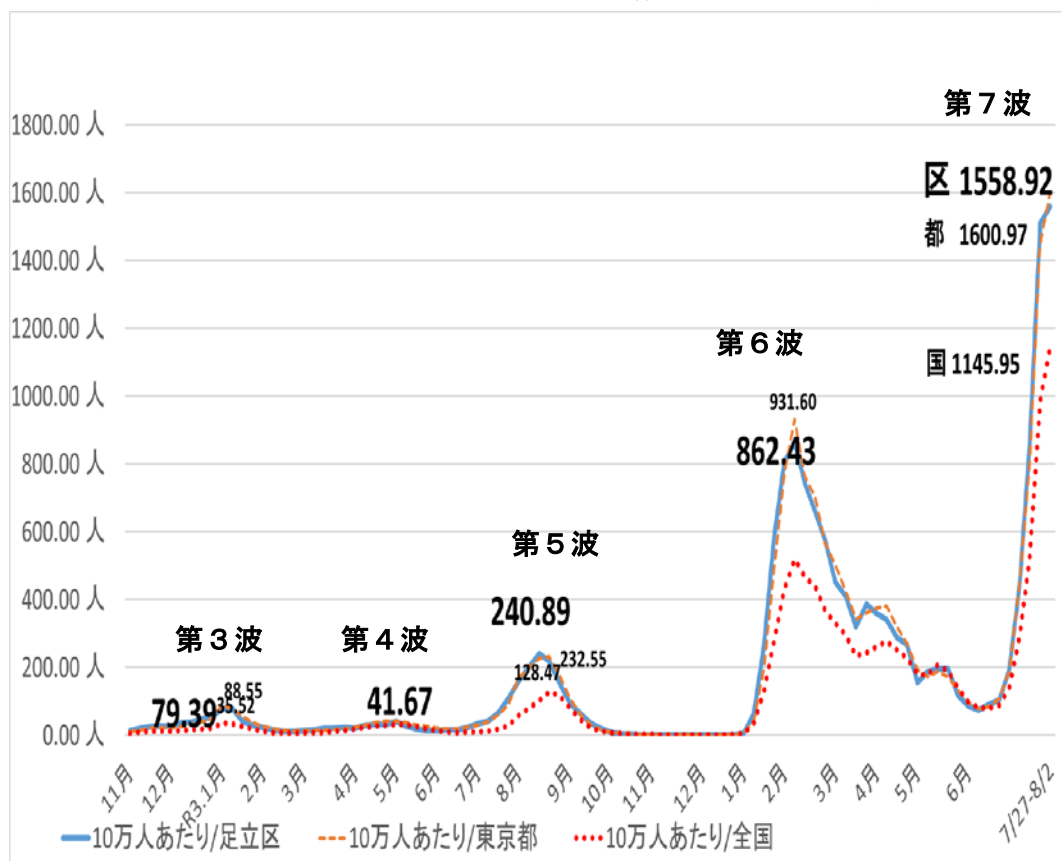
令和4年8月19日

件名	足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について																		
所管部課名	衛生部足立保健所感染症対策課																		
内容	<p>1 区内感染状況の概要</p> <p>(1) 区内におけるPCR検査件数と陽性率の推移</p> <p>PCR検査数に占める陽性率は、図1のとおり、第6波における市中の感染拡大の影響から、令和4年2月に37.1%まで上昇した。一時9%まで減少したものの、第7波となり、令和4年8月5日現在、48.5%と急激に上昇している。</p> <p>(図1) 区内PCR検査件数と陽性率の推移 (8/5 午前9時)</p> <table border="1"> <caption>区内PCR検査件数と陽性率の推移 (8/5 午前9時)</caption> <thead> <tr> <th>波</th> <th>検査数/件</th> <th>陽性率/%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第3波</td> <td>4,337</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>第4波</td> <td>3,305</td> <td>3.3%</td> </tr> <tr> <td>第5波</td> <td>7,145</td> <td>20.1%</td> </tr> <tr> <td>第6波</td> <td>12,826</td> <td>37.1%</td> </tr> <tr> <td>第7波</td> <td>12,687</td> <td>48.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 区内における感染者数の推移</p> <p>別紙1 (P7) のとおり、オミクロン株が多数を占める第6波の感染状況について、足立区ではピーク時1週間あたりの感染者数は6,000人程度まで急増した。その後、減少傾向に転じていたが、第7波において令和4年7月末から8月始めにかけ1週間あたり1万人を超え、令和4年8月11日現在では、1週間あたり8,000人程度となっており、爆発的な感染拡大が継続している。</p>	波	検査数/件	陽性率/%	第3波	4,337	11.5%	第4波	3,305	3.3%	第5波	7,145	20.1%	第6波	12,826	37.1%	第7波	12,687	48.5%
波	検査数/件	陽性率/%																	
第3波	4,337	11.5%																	
第4波	3,305	3.3%																	
第5波	7,145	20.1%																	
第6波	12,826	37.1%																	
第7波	12,687	48.5%																	

(3) 1週間毎の人口10万人あたりの新規陽性者数

都内全域におけるオミクロン株の急速な拡大の影響により、図2のとおり、足立区ではピーク時10万人あたり862.43人まで急増した。その後、減少傾向が続いていたが、令和4年8月5日現在、1558.92人と急激に感染が拡大している。

(図2) 1週間毎人口10万人あたり新規陽性者数 (8/5 午前9時)



2 クラスター発生状況 (令和4年8月11日 午前9時現在)

令和4年1月以降、第6波において区内で発生したクラスターの総施設数は553施設である。

3 新型コロナを疑う症状のある方への抗原定性検査キット配布及び東京都陽性者登録センターの運用について

令和4年8月1日付、感染急拡大に伴い診療・検査医療機関への検査・受診の集中を緩和し、発熱等の症状がある方が速やかに適切な保健医療サービスを受けられるよう、事業を開始した。

(1) 抗原検査キット配布

対象	都内在住で、新型コロナウイルス感染症の発症を疑う何らかの症状がある方
費用	無料
配付予定数	7万キット/日
事業開始日	令和4年8月1日
申込方法	0570-020-205 または https://tokyo-onsettestkit.jp/

※1回の申込は1人1キットまで、本事業実施期間中1人2回まで

(2) 東京都陽性者登録センター

医療機関にかわり、常駐医師が新型コロナウイルスの診断を行い、発生届を保健所に提出する。

対象	① 都内在住で、20歳から39歳の方（対象年齢は順次拡大）
	② 自ら実施した医療用抗原検査キットによる検査結果、都内無料検査場で検査した結果が陽性の方
	③ 基礎疾患及び肥満（BMI 30以上）のない方
	④ 妊娠されている可能性の無い方
	⑤ 申請時、無症状又は軽症である方
	⑥ 自宅療養可能な方
	⑦ 問合せ等にメールでの連絡が可能な方
受付時間等	午前9時から午後5時（土日祝日含む）、3,000件/日
申込方法	https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/corona_portal/shien/youseitouroku.html

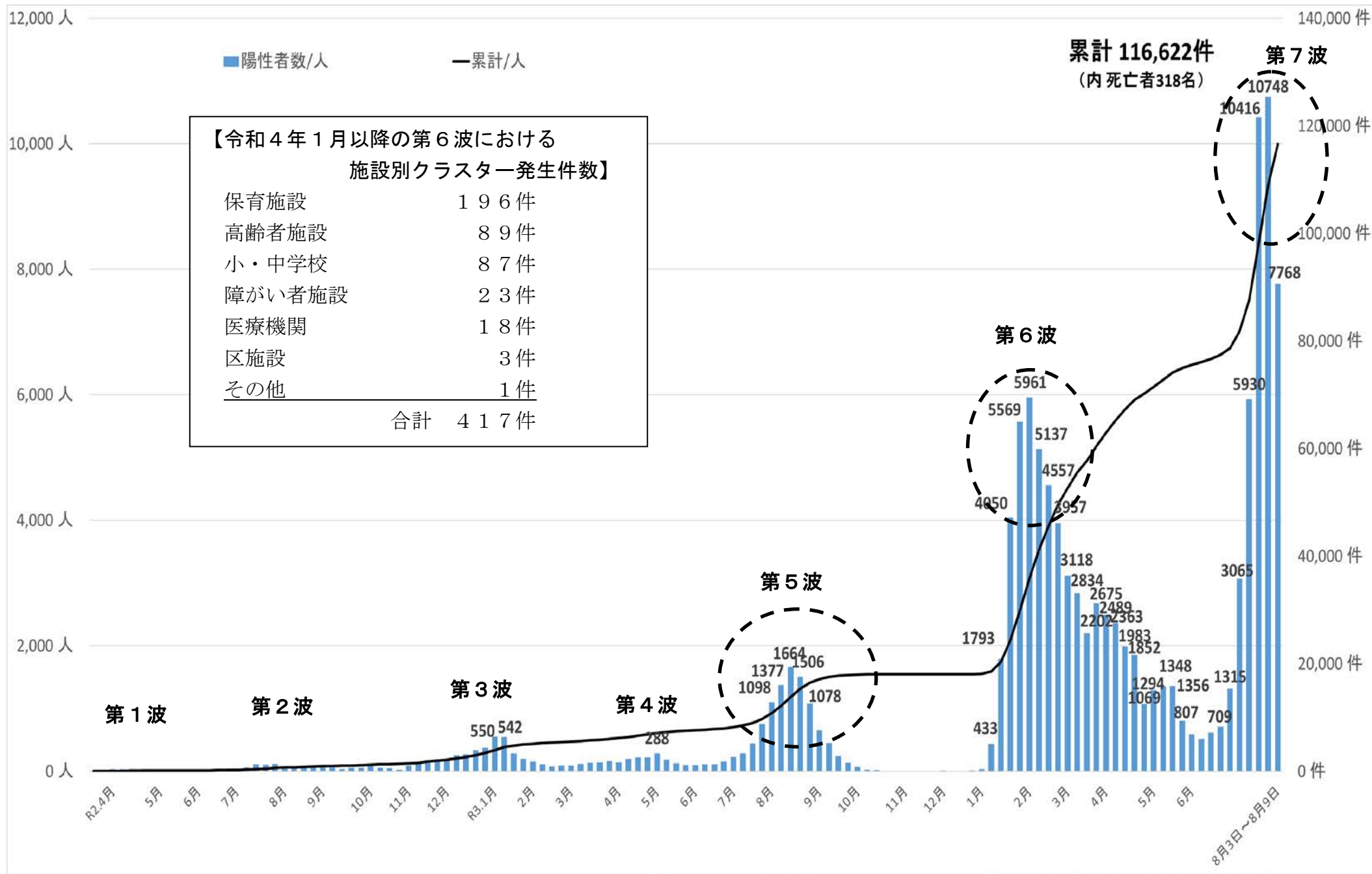
4 足立区発熱電話相談センターおよび足立区PCR予約専用ダイヤル等の電話相談実績

月	件数
1月	10,460件
2月	13,642件
3月	9,826件
4月	5,321件
5月	3,540件
6月	2,466件
7月	10,789件
8月	5,712件 (8月11日現在)

問題点
今後の方針

今後は、社会経済活動の維持と感染症対策の両立を目指す。引き続き、相談・検査等の体制を確保するとともに、患者が円滑に医療機関を受診し、療養できる体制を構築していく。

区内感染者数の推移、累計及びクラスター発生状況（8月11日 午前9時現在）



区内陽性者数、自宅療養者数の推移（8月11日 午前9時現在）

